

科目名 (英)	人間関係心理学 Interpersonal Psychology	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	(通年科目)前期
【授業の学習内容】							
<p>社会生活を営むに当たって必要な一般的常識からマナーについて学習する。グループワーク等を通じてより良い人間関係構築のための交流、協力、連携、心を通わす、他者とのコミュニケーションについて学習する。</p> <p>特に前半15回では、人間関係の構築に必要な基礎的な知識を習得して実際に体験することから、自分の現状を知ることを目指す。</p>							
【到達目標】							
<p>①グループワーク、レクリエーションが及ぼす対人関係の効果について理解し、より良い人関係構築を目指す意識と行動を実践できる。</p> <p>②クラス運営や就職先などの集団でのより良い人間関係構築が実践できる。</p> <p>③対人(個人)とのより良い人間関係構築に必要な行動観察技法や観察による情報の取得ができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ガイダンス コミュニケーションとは
2回目	基本的対話スキル① コミュニケーションのプロセスを理解し、1対1の会話を行う
3回目	基本的対話スキル② グループでの会話を行う
4回目	基本的対話のまとめ
5回目	自己表現スキル① 挨拶の意味、頼み方と断り方について理解する
6回目	自己表現スキル② 仕事の上で必要とされる表現技術について理解する
7回目	自己表現スキル③ アンガーマネジメント:適切な怒りの表現について理解する
8回目	自己表現のまとめ(発表会①)
9回目	社会的スキル① 挨拶、敬語、電話応対について理解する
10回目	社会的スキル② 接客、訪問、謝罪について理解する
11回目	社会的スキル③ 文書作成:社内文書と社外文書について理解する
12回目	社会的スキルのまとめ(発表会②)を行う
13回目	サービスマインド サービスの心得について理解する
14回目	まとめと最終確認①
15回目	まとめと最終確認②
準備学習 時間外学 習	事前準備 授業開始前に教科書該当する項目を熟読すること 授業や授業外で会話をするときは相手を見て話す、聴くことに心がけ多くの人と積極的に会話すること
評価方法	成績の評価は、『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	
コミュニケーションスキルアップ検定 滋慶教育科学研究所監修	

科目名 (英)	人間関係心理学 Interpersonal Psychology	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	(通年科目)後期
【授業の学習内容】 社会生活を営むに当たって必要な一般的常識からマナーについて学習する。グループワーク等を通じてより良い人間関係構築のための交流、協力、連携、心を通わす、他者とのコミュニケーションについて学習する。 特に後半15回では、グループワークや演習を通じて人間関係の構築に必要なスキルを活用することを目指す。グループワークは主に「記憶と学習」「質問紙法」で行う。「記憶と学習」では、今後の学習へ活用することも目指すため、鍼灸に関する用語を用いることとする。							
【到達目標】 ①グループワーク、レクリエーションが及ぼす対人関係の効果について理解し、より良い人間関係構築を目指す意識と行動を実践できる。 ②クラス運営や就職先などの集団でのより良い人間関係構築が実践できる。 ③対人(個人)とのより良い人間関係構築に必要な行動観察技法や観察による情報の取得ができる。							

授業計画・内容	
16回	オリエンテーション 心理学とは何か:科学としての心理学について理解する
17回	記憶と学習① 記憶の種類と学習曲線について理解する
18回	記憶と学習② 自分に合った覚え方を考える
19回	記憶と学習③ 自分に合った覚え方を実践する
20回	記憶と学習④ 発表会を行う
21回	質問紙法① さまざまな研究法:量的データと質的データ、信頼性と妥当性について理解する
22回	質問紙法② アンケート作り:データ収集の方法と項目作成の基礎について理解する
23回	質問紙法③ アンケート作りを行う:信頼性と妥当性について理解する
24回	質問紙法④ アンケート作りを行う:結果のまとめ方について理解する
25回	質問紙法⑤ 発表会を行う
26回	自己分析① 性格とは何かについて理解する
27回	自己分析② 自己意識と行動について理解する
28回	自己分析③ 自己効力感と動機づけについて理解する
29回	自己分析④ 原因帰属について理解する
30回	まとめ
準備学習 時間外学 習	オリエンテーション時に説明
評価方法	成績の評価は、『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験、提出課題、プレゼンテーションの評価などが含まれる。
受講生へ のメッセ ージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 特になし。授業中にプリントを配布します。	